

★学校教育自己診断アンケートのH28年度とH29年度の比較で、特筆すべき項目

保護者アンケートからのとくに伸びた肯定度 ※（ ）内の数字はH28年度

1：学校への登校を楽しみにしている	… 85.0% (78.0%)
6：自立と社会参加に向けての教育を推進している	… 79.1% (63.1%)
17：学習環境面の施設設備の改善	… 77.5% (36.9%)
18：授業参観の機会	… 87.5% (78.6%)
19：保護者、PTAとの連携	… 89.2% (71.8%)
20：関係諸機関（福祉医療等）との連携	… 73.4% (62.1%)
21：子どものプライバシーの厳守	… 83.3% (73.8%)

※ホームページについては10%未満だが、閲覧度、有効性ともに上昇している

教職員アンケートからのとくに伸びた肯定度 ※（ ）内の数字はH28年度

1：生徒・保護者のニーズ	… 93.0% (82.2%)
3：合理的配慮,必要な生徒の実態把握、必要な支援の実施	… 90.7% (79.1%)
4：高等部への進学、高等部卒業後を見据えたキャリア教育	… 88.9% (65.9%) 昨年は下がっていた
7：体罰やセクハラ防止、人権感覚の姿勢にもとづいた生徒指導	… 84.5% (74.2%)
10：経験の浅い教員の教育活動の支援	… 69.5% (58.0%)
18：適正・能力に応じた人事や校務分掌等の適切な分担と意欲的に働ける環境	… 70.8% (51.6%) 昨年度はさがっていた
19：福祉機関等との地域連携	… 80.6% (61.3%)
22：仕事上の悩みや生徒への対応や授業づくり等で話ができる自由な雰囲気	… 77.8% (67.7%)
24：整備施設の点検、校内の死角チェック	… 61.1% (46.8%)
26：防災意識の向上	… 79.2% (64.5%)

※ 12：授業内容に社会参加を見据えた視点（79.2%）・・・今年度より追加質問

生徒アンケートからのとくに伸びた肯定度 ※（ ）内の数字はH28 年度

5：社会のきまり（ルール）、命の大切さを教えてくれる	… 69.8%（55.4%）
6：中学校や高校との交流	… 74.0%（65.6%）
9：高等部のこと、高等部卒業のことを教えてくれる	… 52.1%（40.8%）
10：政治や選挙に関心をもった（高等部のみ）	… 32.2%（21.6%）

ほとんどの項目で高評価が得られたが、4：生徒のことを大切に思いけんかがおこらないようにしているが約 10%落ち込み、わからないという答えが増えている。前年度から文言の変更でけんかという言葉がはいっていることでわからないが増えたのではないだろうか？

昨年度も肯定度の高かった項目※（ ）内の数字はH28 年度

生徒1：学校が楽しい	… 83.2%（84.6%）
生徒7：校外学習、宿泊学習（修学旅行）は楽しい	… 82.4%（89.3%）
保護者1：子どもが学校に行くことが楽しい	… 85.0%（88.3%）
保護者2：授業を楽しく受けている	… 82.5%（80.6%）
保護者3：学校は安全、安心して学校生活を送れている	… 90.0%（91.2%）
保護者4：学校行事の工夫	… 95.0%（93.2%）
保護者7：日頃の子どもの情報提供	… 90.9%（97.1%）
保護者8：個別の教育支援計画、個別の指導計画が適切に評価されている	… 90.9%（97.1%）
保護者12：子どものニーズに応じた健康支援	… 89.2%（91.2%）
保護者13：お互いを大切にし、命や社会のルールを守る態度	… 84.1%（85.5%）
保護者16：地震や台風などの緊急時の対応	… 93.3%（98.4%）
教職員1：生徒や保護者のニーズに答えている	… 93.0%（82.2%）
教職員2：生徒の障がいや特性の理解、コミュニケーションの方法の把握	… 91.6%（83.9%）
教職員9：家庭との連携	… 91.7%（91.9%）

全体として生徒、保護者は学校へ来ることを楽しみにしていて、緊急時の対応や行事の工夫、日頃の子どもの情報提供がなされ社会へ向けてのルールを教え、教職員は生徒の障がいや特性の理解をし生徒、保護者のニーズに答え、地域連携もできていて、生徒の進学、社会参加に向けた取り組み、高等部の生徒に関しては政治や選挙に関心を持っている。保護者と教職員との差異項目が1項目もないことから学校としての取り組みがうまくいっていることがうかがえる。